

大宮小&済美小&大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます！



なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和3年11月30日 第7号(19-49)

発行責任者：校長 関田 誠

『大宮中精神：優しさをもって、夢や目標に挑戦する若者であれ！』

11/8(月)朝礼校長講話

『人で遊ぶな、人と遊べ』の話

～ “いじる” から大きなトラブルに…～

コロナ禍が謎の落ち着きを見せています。校舎内には音楽の授業で、時折きれいな歌声が聞こえるようになりました。廊下で歌を口ずさんでいる人も見かけます。とても嬉しい変化です。三学期の音楽発表会が、今から楽しみです。

さて、11月『ふれあい月間』。今月もいじめアンケートを実施します。今朝は友達関係について考えてみましょう。この漢字を読めますか？そうです。『いじる』ですね。私が最近よく耳にする嫌いな言葉に『人をいじる』という言葉があります。『弄^{いじ}る』は『用事もないのにやたらに手で触ったり、なでまわしたりする』という意味です。この漢字を使った『愚弄^{ぐろう}する』とか『策を弄^{ろう}する』といった言葉があります。どちらも良い意味ではありません。自分勝手な理屈で、相手の人格を無視する行為です。



世の中（お笑いやドッキリ、バラエティ等のTV）には、『いじる（軽い）くいやがらせくいじめ（重い）』というような図式があって、（ちょっといじるくらい笑えればOK）という風潮を感じます。しゃべり方が違う、動作や反応が違う、髪型や容姿、体型が異なる。実につまらない理由で、不愉快なあだ名で呼んだり、からかいの対象にする。上履きや物を隠したり、悪口を言い合ったり…。まわりの人も、（またやってるよ）と、徐々に鈍感になっていく…。考えるだけで気持ちが沈みます。

『いじる』という言葉が私が嫌いな理由は、『人で遊ぶ』行為だからです。『人で遊ばれて』楽しい人はいないはず。みなさんには『人と遊んで』ほしい。一字違いが大違いです。小さなことでも『人で遊んで』反応を楽しむという心は、人として品が足りない下品な行為だと私は思います。それを理解してください。ぜひ、みなさんの間では、お互いを尊重^{リスペクト}し合う本当の友達関係を築いてください。これは私、先生方の切なる願いです。もう一度言います。大宮中生は『人で遊ぶな、人と遊べ』、優しい人間関係を築こうということです。😊

※先日、愛知県内の中学校で殺傷事件が発生しました。あらためて人間関係のトラブルの怖さと、他人事とせず解決の方法を皆で考えていかなければならないことを痛感させられました。

授業ぶらっと訪問⑪

11月4日（木）数学 2A 少人数 15 名 近藤先生

数学では、毎時間、授業の冒頭 5 分間テストをやっています。計算問題、図形の面積（扇形の面積、球の表面積）を集中して計算します。終了後、近藤先生が生徒を指名して解答させて、簡単に解説します。毎時間の基本事項の確認です。続いて、本時のめあてを生徒に示します。『合同な図形の性質を理解しよう』です。図形領域に入っています。デジタル教科書で、 $\triangle ABC$ と重なる図形を、いろいろな向きをした三角形から探します。『対応する』角や辺を、一人ずつ生徒を指名しながら確認します。 $\triangle ABC \equiv \triangle HIG$ は対応順に必ず書くことを押さえています。合同な四角形の対応する角と辺も調べます。近藤先生は「対応する関係をきちんと押さえることが、次の授業から始まる図形の証明のために重要だよ」と、何回か念押しします。まとめとして、合同な図形の性質として、『対応する線分の長さはそれぞれ等しい』と、『対応する角の大きさはそれぞれ等しい』をプリントに記述させます。プリントを配布して、今日学習したことを使って、様々な対応する角や辺を調べます。素早く解答に取りかかり、すぐに 2、3 名が終わります。近藤先生ができていないかチェックします。そこからは、正解をした生徒の所に解き終わった生徒がプリントを持ち寄って、2、3 人で集まって答え合わせを始めています。○×をつけながら、その場で間違った部分を教え合っています。最後に、もう一枚プリントを配って、図形の角度を求める発展問題を解いていました。近藤先生は生徒の回りを動きながら、○をつけて回ります。つまづいている生徒にはヒントの言葉をかけていました。終わった生徒が、他の生徒の丸付けをして教える姿が、ここにもありました。区の調査で「必要な時に必要な人と協力すること」に高い肯定率が出ていたのは、こうした学び合いがあります。学び合いで仲間の学習レベルが上がれば、授業の内容もより高い水準に向かっていく好循環です。その後、チャイムが鳴って授業が終わっても、プリントが終わっていない生徒は、解き続けている姿がありました。今日の授業が定期考査前ということとは関係なく、授業中の生徒の集中力と、どん欲に問題に向き合う姿が美しい授業でした。



11月29日（月）保体 C 組 美田先生

今朝は体育の授業です。整列、挨拶の後、ラジオ体操等で体をほぐします。リーダーの三年生の生徒の号令で、元気よく声を出しながら、軽快な音楽を BGM に、ランニングへと進行しています。

さて、いよいよ本題のアルティメット競技です。四時間目です。美田先生が今日のめあてを説明します。『ゴールを意識してパスをつなげる』『ルールやマナーを守り、思いやりをもって活動する』です。C 組の生徒は真剣に聞いています。ルールの確認をした後、三対三でゲーム練習に入ります。アルティメットという競技は、アメリカンフットボールのボールをフライングディスク（フリスビー）に変えたような競技です。攻撃側はディスク



神戸先生と美田先生の模範演技

を前に投げ、動きながらキャッチします。ゴールエリアでディスクをキャッチしたら得点になる競技です。守備側はキャッチされないように妨害します。それを二分間で攻守を交代しながら進めます。ゲーム練習中は、生徒たちはディスクを投げてキャッチしようと夢中になって動き回っていました。ゴールエリアに走りこんで、遠くから投げられたディスクをキャッチするような場面もあり盛り上がりました。まだ、ゲームは二回目ということもあり、生徒たちは



走る走る。パス！キャッチ！

ルールを全て理解できていない部分がある様子で、美田先生がその都度、

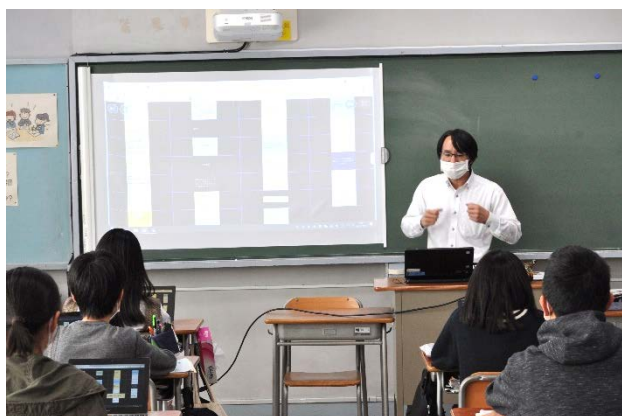
指示を出していました。

最後に振り返りシートで、各チームのゲームの反省をして、ホワイトボードを使って、『仲間の良いところみつけ』に取り組みます。授業の中で、仲間の良い行動を見つけてボードに貼っていました。美田先生は、「ディスクを投げて取るだけでなく、チームメイトや対戦相手に思いやりのある活動ができるようになる」とまとめていました。アルティメットという競技は、想像していたより運動量が多く、生徒は良い汗をかいていて、何より楽しそうにゲームに取り組みしており、観ていて爽快な気持ちになりました。

道徳授業 地区公開講座

道徳が教科化されて二年目、本校では考える道徳、議論し話し合う道徳授業を目指しています。また、特に命を大切にしようとする心を育てることに取り組んでいます。

当日は、第1学年では、働く事ってどういうことだろう？という内容で新幹線車内の清掃作業を始めた女性が、誰にも知られたくなかったという気持ちが、仕事に誇りをもてるまでが描かれていました。庭野先生、近藤先生はそれぞれの教室で、タブレットPCのロイロノートを活用させて、意見交換している姿が見られました。



第2学年では、『奇跡の一週間』というタイトルの、ホスピスで末期癌の北村さんという方が、絵本の挿絵を描く依頼を受けて、ベッド脇のPCで亡くなる前の一週間を制作に捧げた話でした。渡辺先生、島村先生の学級の二年生は、限りある命をどう生きるかを見つめながら、個人やグループで考えたことを発表して、意見交換していました。



第3学年は『加山さんの願い』です。ひよんなことで町内のお年寄りの訪問ボランティアを始めた加山さんが、さまざまなお年寄りと交流する中で、世話を“してあげている”という気持ちが、相手の心に壁を作っていることに気付いていく話でした。丸山先生、宮本先生の学級では、それぞれタブレットPC、電子黒板を使いながら意見交換をしていました。



C組は『ヒキガエルとロバ』という生命尊重の教材です。道でつけたヒキガエルに石を投げていた少年たちの前に、荷車を引いたロバが進んできます。少年たちはヒキガエルが荷車に轢かれることを期待しますが、ロバは立ち止まりヒキガエルを避けるように、懸命に力を出して轍を外れてヒキガエルを助けて通ります。それを見た少年たちは、持っていた石を取り落とす…、という話です。神戸先生の命を考える真剣な問いかけに、C組の生徒たちは積極的に発言していました。



【お知らせ】 本校会場で実施している実用英語技能検定『英検』で、連携小学校（大宮小、済美小）の英語好きの児童に対して、三学期から受検を受け入れます。本校1、2年生の諸君は今まで以上に積極的に挑戦ですよ！年明け1/21が検定一次です。DOノートで計画、実行しましょう。

11

13(土)

学校公開 土曜 C&C デイ

コロナ禍の新規陽性者に落ち着きが見られる中、10月に続き学校公開を実施しました。

31名の保護者にご来校いただきました。当日はC&Cデイでもあり、ノーチャイムとカジュアルデイで普段とひと味違う半日を過ごしました。今後とも、学校公開の機会にご参観をよろしくお願いいたします。以下、アンケート箱に入っていた感想を掲載します。

★お世話になります。小学校卒業後、初めての参観でした。生徒皆落ち着いて取り組んでいる姿が見られた。個々の考えとグループでの考えをそれぞれが発表できる時間がもう少しあると、更に良いかなと感じました。今後ともご指導宜しく願い致します。(1年保護者)

クラスの雰囲気良く、生徒たちも楽しく学んでいる様子が分かりました。数学と音楽でしたが、担当の先生も飽きさせない授業をしていて、見ている方も勉強、為になりました。今後とも宜しくお願い致します。(2年保護者)

★2校時目の体育で、子どもと一緒に汗を流せ、楽しい時間を過ごせました。ありがとうございます。子どもたちの生き生きとした顔、安心しました。(C組保護者)

★とても楽しくできている様子が見れて良かった。親、先生、周辺の人々との交流が、子どもにとって、心の支えになります。今後の生活についても役に立つと思う。私も小学校時代、親同士が仲良かったりすると、うれしくなった記憶がある。今日はありがとうございました。(1年保護者)

11

22(月)

服のチカラ プロジェクト

本校では総合的な学習の時間に、第一学年でSDGs(17の持続可能な開発目標)の学習を始めました。その流れの中で、PTA役員さんからユニクロの『服のチカラプロジェクト』への参加の提案がありました。そこで生徒会本部とボランティア部が中心となって、済美小、大宮小、堀ノ内子供園、堀ノ内南学童クラブにも呼びかけ、着られなくなって自宅に眠っている子ども服の回収をおこないました。各校や子供園の保護者の方や関係者のご協力に感謝いたします。

結果は30箱以上の子ども服が集まり、生徒

ボランティアを募って、服の仕分けや箱詰め作業をおこない発送しました。今回の服のリサイクルで集められた服は、世界の難民の子どもたち等に送られるそうです。家族の思い出を想像できる子ども服ばかりで感動しました。紙面を借りて感謝申し上げます。



11

13(土)

スピーキング テスト(3年)

来年度(今の二年生)から、都立入試の英語にスピーキングテストが導入されます。その準備として、一昨年に続きプレテストを実施しました。今年度の入試ではこのテストはありませんが、3年生は真剣な表情で取り組んでいました。ヘッドフォンを耳につけて、流れる音声を聴きながら、タブレットに出てくるイラスト等を読み取り、英語で40秒以内に解答していました。今回のテストは、ヘッドフォンで耳がすっぽり覆われて、隣の生徒の声が聞こえないように改善されていました。英語の小川先生によると、「今回の内容は、英検3級の二次のレベルよりも難しい」とのことでした。終わってから「難しかった」と話している生徒もあり、1・2年生は本番に向けて、英語の授業を中心に、話すことに慣れるための対策を準備することが必要です。土曜特別講座『おっちゃん world』も毎月行っています。確実に会話力が付きますから、積極的に参加してみましょう。

